

■杉本鉞子 小説家。アメリカで子育て、夫急逝で帰国するも、娘のため再渡米、日本人初の米国ベストセラー作家に。

すぎもとえつこ

佐賀の乱・ 1874 = 新潟県長岡で、官軍に敗れた旧長岡藩の存続再生に努めた筆頭家老稲垣平助の五女に生まれる。

厳しい父母のもと、士族のあり方を体現して一家の尊敬集める祖母と20上の優しい兄に慈しまれて育ち、

・ ・ ・ ・ ・ 1880 = 6歳：菩提寺の高名な学僧が来宅する個人教授で、儒学を学び始め、

明治14年政変 1881 = 7歳：

この間、渡米した兄が事業に失敗、不遇だったところを助けられ畏友となったのが貿易商杉本松雄で、

岩倉具視没・ 1883 = 9歳：

父の死去後に帰国し家長となっていた兄の希望で、

帝国大学始・ 1886 = 12歳：杉本松雄と婚約し、英語習得のため上京。

青山学院に入学してキリスト教に関心を持ち受洗。

帝国憲法発布 1889 = 15歳：

大本教・ ・ ・ 1892 = 18歳：

日清戦争始・ 1894 = 20歳：

子規句歌革新 1898 = 24歳： 渡米して、松雄と結婚、ウィルソン大統領一族の家で、当主の姪フローレンスの家族と同居生活に入り、
Bushidou・ ・ 1899 = 25歳：長女花野を出産。

田中正造直訴 1901 = 27歳：次女千代野を出産。

日露戦争終・ 1905 = 31歳：

夫の仕事も順調であったが、

伊藤博文暗殺 1910 = 36歳：

手違いから破産宣告を受け、夫が建直しをする間ということで、
娘を連れて日本に里帰りするや、夫が盲腸炎で急逝との電報、経済的に自立する必要に迫られ、
英語力を活かすべく、日本キリスト教矯風会とフレンド女学校に勤務、娘は上京した母に預ける。

明治天皇没・ 1912 = 38歳：

矯風会長矢島楫子の助手をしながら、その機関誌や{婦人の友}にアメリカ体験にもとづく意見を寄せる。

民本主義・ ・ 1916 = 42歳：

しかし、娘たちは日本の学校になじめず、やがて目の輝きも失うのを見て愕然とし、
娘たちを連れて、再渡米。フローレンスの勧めで、上流の学校に通わせる一方、その励ましを受けて、

雑誌・新聞などに投稿を続け、

第一次大戦 1919 = 45歳：

大暴落・ ・ ・ 1920 = 46歳：

原敬首相暗殺 1921 = 47歳：

著名な編集者で詩人のクリストファー=モーレーの目にとまり、
コロンビア大学の公開講座で日本語と日本文化史の講師も始め、教え子らから慕われるうち、

関東大震災・ 1923 = 49歳：

*モーレーの依頼で、米国の雑誌{アジア}に、家老の家に生れた鉄子の半自伝的な小説「武士の娘」(A Daughter of the Samurai)を1年間連載。

治安維持法・ 1925 = 51歳：

*単行本化されるや大反響を受け、日本人初の米国ベストセラー作家となる。さらにドイツ・デンマーク・フランス・スウェーデンなど、7か国語に翻訳される。日本で共著「お鏡お祖母さま」が出版される。

金融恐慌・ ・ 1927 = 53歳：

このほか、英文で共著「成金の娘」「農夫の娘」なども出版して、欧米に日本文化を紹介したが、
共産党事件・ 1928 = 54歳：

*コロンビア大学講師も辞任し、30年にわたる米国生活を切りあげ帰国。

満州事変・ ・ 1931 = 57歳：

日中戦争始・ 1937 = 63歳：

日米開戦・ ・ 1941 = 67歳：

敗戦・ ・ ・ 1945 = 71歳：

新憲法公布・ 1946 = 72歳：

朝鮮戦争始・ 1950 = 76歳：

肝臓ガンになったが、その痛みを周囲に見せることなく、没した。
昭和42年(1967)日本語訳の「武士の娘」が刊行された。

多田建次「海を渡ったサムライの娘杉本鉞子」、